
「術後疼痛管理チーム立ち上げと運営が術後患者予後に与える影響についての後方視的研究」

に関するお知らせ

このたび、当院で全身麻酔を行った患者さんのカルテからのデータを用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2022年12月1日から2023年7月31日までに埼玉医科大学病院中央手術部にて全身麻酔にて手術を行われ、術後持続鎮痛法（静脈内または硬膜外投与による）が実施された患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

術後疼痛管理チームの運用開始による術後患者早期予後に対する影響を検討することです。

3. 研究期間

病院長の許可後 ~ 2025年03月31日

4. 開始予定日

2023年8月21日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

試料：なし

情報： 研究対象者のカルテ、および麻酔記録から次のデータを収集します。

- (1)患者背景（病名、年齢、身長、体重、BMI、ASA分類、術前合併症など）
- (2)麻酔方法、手術時間、麻酔時間、手術術式、手術中の鎮静薬、鎮痛薬の使用量など。
- (3)術後経過：手術後1日目から3日目までの術後痛の程度(NRSにて0~10で評価)、術後悪心嘔吐、かゆみ、循環呼吸状態、術後鎮痛薬の使用状況など

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である土井克史が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

該当患者さんの診療記録、麻酔記録等から取り出します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学病院 麻酔科 土井 克史（研究責任者）
- ・ 埼玉医科大学病院 麻酔科 三枝 勉
- ・ 埼玉医科大学病院 看護部 川村 日輪
- ・ 埼玉医科大学病院 看護部 酒本 陽平
- ・ 埼玉医科大学病院 薬剤部 横田 敬之

4. 試料・情報の管理責任者

< 提供元機関 > 【埼玉医科大学病院】 病院長 篠塚望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 麻酔科 土井克史

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷3-8

電話：049-276-1271（土日祝日を除く 8:30～17:30）

メールアドレス：kdoi@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：術後疼痛管理チーム立ち上げと運営が術後患者予後に与える影響についての後方視的研究

○研究責任者：埼玉医科大学病院 麻酔科 土井克史